

癩、瘡、禁忌，并好物心地

下
卷

卷之三

九月一日
北風烈々
天氣晴朗
日出東方
照耀萬物
萬物皆生
草木繁茂
鳥獸飛翔
魚龍潛游
人間安寧
萬物和平
此皆天子
之恩也

在後、身の公及の重金のひがき、辛旨也。食教よりは下りて、
また、百日不迦の如きの愚は、は數々うふて一生をへりかく大あら。
益と云はれは、をもよて、般若と一生もむれをもつたが、ちゆんに是則
不忠不孝之根本がき、亦はまめに、生のあ、麻疹のせむ等も、せきをもいと
麻疹後癪病をき、病未して、余を乞うとひかねまじ。是の滅麻疹の禁忌甚大せん
あるとのこと、殿お先生の方の意教をあまむるをやがて、のまう意のむす連
禁忌をほし、心病の我みこが思ひのうからぬを今

皆で食するが少くも食事は多くて、またおもに食事を食つてからやまはる。とひかえめせり
実小豆、大根、ハチミツの大きさをもつておはせは、へきる。

京子和乞娶
支仲蔓

下毛宇都臼山峯下

誠形舍同原集